

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年12月20日
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	村松・岩見・文恵・飛鳥田・片山・澤地・山田・ 藪崎・篠原・水野・堀江・神戸・間島・上山

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
⑥ 前回の課題について取り組みましたか?	8人	6人			14人

前回の改善計画	
それぞれの利用者に対し施設目標でもある「一日一回は声掛けをする」をすべての職員が実行し、より多くコミュニケーションを取って行きます。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
来所時には必ず名前を呼んであいさつし、日中もたくさん声かけするようにこころがけます。	

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	11	3			14
② サービス利用時に、本人や家族・介護者か、まず必要としている支援かできていますか?	6	8			14
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いできていますか?	9	5			14
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	7	7			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
情報に関しては、利用開始前にサマリー・朝礼・職員間の連絡帳などでスタッフ間で共有し把握できている。家族から自宅での様子をたくさん話していただけるように、送迎時に笑顔で挨拶し話しやすい雰囲気を作るように努力し、施設での様子を心配しないように話している。慣れていない利用者には、声かけして良い反応がなくても様子を見ながらできる限りいろいろと声掛けをしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者の基本情報は得られているが現在の情報がほとんどで、認知症になる前の日常の様子や社会とのつながり、楽しみなどより深いところの情報までは得ることが難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
基本情報をもう少し掘り下げて収集して行く。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月20日

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊

メンバー 村松・岩見・文恵・飛鳥田・片山・澤地・山田・  
藪崎・篠原・水野・堀江・神戸・間島・上山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⑥ 前回の課題について取り組めましたか？	4人	7人	3人		14人
前回の改善計画					
利用者との会話を増やし、少しでも具体的な情報をキャッチして行く。					
前回の改善計画に対する取組み結果					
声掛けを多くしたのでより多くの情報を得ることはできたがほんの一部の利用者で、多くの利用者は会話も難しい状態です。					

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 「本人の目標（ゴール）」かわかっていますか？	4	7	3		14
② 本人の当面の目標「～したい」かわかっていますか？	5	6	3		14
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりかできていますか？	5	6	3		14
④ 実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	8	6			14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・カンファレンスやミーティングで、それぞれの利用者「どうしたら良いか？どうしたいのか？」等の話し合いをより良い対応方法を検討して次回に評価している。カンファレンス等では、自分の不在時の担当利用者のことを聞くとともに、他利用者の情報も聞くように努力している。話し合いの時は、すべての職員が発言できるように司会を順番制で行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
本人のしたいことが分からず（自分の意思をはっきり言える人がいない）、家族側に立った目標に沿っての関わりになってしまっている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
本人からの情報を得ることが難しい利用者は、家族からの聞き取りを十分にするが利用者側に沿った関わりをして行く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月20日

3. 日常生活の支援

メンバー 村松・岩見・文恵・飛鳥田・片山・澤地・山田・  
藪崎・篠原・水野・堀江・神戸・間島・上山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⑥ 前回の課題について取り組みましたか？	6人	8人			14人

前回の改善計画	体調の変化や気持ちの変化を敏感に感じ取ることができる。
前回の改善計画に対する取組み結果	来所持や利用時に顔や動きをよく見るようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	5	9			14
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護かできていますか？	12	2			14
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	11	3			14
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	12	2			14
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	12	2			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
来所持には必ず顔を見て声掛けしバイタルチェックするので、異常に早く気づくことができる。体調に合わせて、食事形態や入浴・トイレ介助等の方法を臨機応変に変更し対応している。体調の変化等気づいたことは、報告するとともに日報や職員間の連絡帳に記入し共有できるようにしている。本人の気持ちの変化や体調の変化にはすぐに対応できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
サマリーに書かれている内容は把握できているが、一部だけの情報になっていることが多くなかなか10個以上の生活歴の把握はできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
一人一人の声にできない訴えをキャッチする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月20日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 村松・岩見・文恵・飛鳥田・片山・澤地・山田・  
藪崎・篠原・水野・堀江・神戸・間島・上山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⑥ 前回の課題について取り組めましたか？	7人	7人			14人

前回の改善計画	
個人の連絡ノートへの記入をお願いして行く。 送迎時により多くの情報を聞き出して行く。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
個人の連絡ノートへの記入はお願いしているがまだ進んでいません。 送迎時の会話は増えている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	7	7			14
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	9	5			14
③ 事業所か直接接していない時間に、本人かどのように過ごしているか把握していますか？	5	9			14
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	6	8			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
家族・地域との関係が切れないように援助できていると思います。コロナ禍でも家族や知人・友人等の面会や外出は比較的自由に行っていました。送迎時近所の方にお会いした時は気持ちよくあいさつできています。ひとり暮らしの方が居なくなりましたが、居た時は回覧板やアンケート等隣家や組長さん宅に届けたり、民生委員さんが通所利用時に施設に訪ねて来てくれたりして情報交換していました。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
これまでの生活スタイルや人間関係・通所利用しない日をどのように過ごしているか、話ができる人が少ないのであまり分からず、個人の連絡ノートへの記入もないと把握できないので、送迎時に報告したり様子を伺うようにしています。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
個人の連絡ノートへの記入をもっとお願いして行く。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月20日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 村松・岩見・文恵・飛鳥田・片山・澤地・山田・藪崎・篠原・水野・堀江・神戸・間島・上山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
⑥ 前回の課題について取り組みましたか?	7人	7人			14人

前回の改善計画	
地域の資源のことをもっと知る。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
地域の資源のこと知る機会が少なかった。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようと思わず、地域の資源を使って支援していますか?	11	3			14
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	14				14
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することかできていますか?	14				14
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援かできていますか?	13	1			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>家族の都合による通所利用変更も、急な泊まりの要望にも柔軟に対応しています。歩行困難時は状態に合わせて車椅子や歩行器・シルバーカー等で移動し、入れ歯を忘れた時は食事形態を替えて臨機応変に対応しています。家族の都合で早い時間から遅い時間まで利用したり、訪問や宿泊も要望に応じ断ることなく提供しています。運営推進会議を開催し、包括・民生委員・町内会長との交流を深めています。家族からの前日・当日の異変報告は、日報や職員間の連絡ノートに記載し共有しています。緊急を要するものは、職員間のラインを通じて報告しています。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域の資源の活用が不十分。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>地域の資源のことをもっと知る。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月20日

6. 連携・協働

メンバー 村松・岩見・文恵・飛鳥田・片山・澤地・山田・  
藪崎・篠原・水野・堀江・神戸・間島・上山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⑥ 前回の課題について取り組めましたか？	11人	3人			14人

前回の改善計画  
地域の皆さんにも参加していただけるような行事を考えて行く。

前回の改善計画に対する取組み結果  
コロナやインフルエンザ等の感染症の収束がないので、地域に向けての発信ができなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	14				14
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	14				14
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	14				14
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	14				14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
福祉用具や訪問看護など必要時には、担当者会議を行い情報を共有しています。コロナ前には自治会の避難訓練には、かならず利用者と一緒に参加し・夏まつりや花火大会には泊まりの利用者と参加して交流を深めていましたが、この3年間は残念ながら実行できていません。今年に状況に期待したいと思っています。同じく施設主催の演奏会やバザーも開催されておりませんので、一日も早く日常が取り戻されて、何の心配もなく皆さんと交流できるのを楽しみにしています。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
コロナのまん延にて、地域との交流ができずに残念な時が過ぎています。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
地域の皆さんにより多く参加していただけるような行事を考えて行く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月20日

7. 運営

メンバー 村松・岩見・文恵・飛鳥田・片山・澤地・山田・  
藪崎・篠原・水野・堀江・神戸・間島・上山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⑥ 前回の課題について取り組めましたか？	7人	7人			14人

前回の改善計画	
地域との交流を広げる	
前回の改善計画に対する取組み結果	
ふれあい祭等に参加していき、好評で利用者の励みとなった	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 事業所のおり方について、職員として意見を言うことができているか？	10	4			14
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	7	7			14
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	8	6			14
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	10	4			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
カンファレンス時には、常に意見を言ったり聞いたりして意見交換や情報の共有ができている。家族からの苦情があれば、その日のメンバーですぐに話し合いを行い改善できるように対応し報告しています。運営推進会議には、2地区の町内会長・民生委員に毎回参加していただき、常に地域の情報を入手し対処・対応できることは受け入れ行っています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域で企画したふれあい祭りには、出品したり見学に行ったりと参加できているが、協働までは行っていない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域の中での「施設」を考え、何ができるか？何を必要とされるか？を伺い出来ることは行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月20日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 村松・岩見・文恵・飛鳥田・片山・澤地・山田・  
藪崎・篠原・水野・堀江・神戸・間島・上山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
⑥ 前回の課題について取り組めましたか?	14人				14人

前回の改善計画	
個々に適した研修を見つけ、一人1回は社外研修に参加する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
今年はコロナ禍で、研修もズーム活用が多かったです。カンファレンスの時間を利用して、ビデオやYouTubeで全員が参加できる研修を行いました。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	14				14
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	14				14
③ 地域連絡会に参加していますか	1			13	14
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	10	4			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
研修の年間計画は立てましたが、コロナ禍の影響でほとんどがズームでの研修になりました。必須の研修をはじめ、多くの研修をカンファレンス時間を利用して全員参加で行いました。「お茶の水ケアサービス学院」の研修は、パソコンでもスマホでも対応でき、理解確認テストもあるのでしっかり受講できています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ズームでの研修に慣れない職員はついしり込みしてしまいましたが、全員とか複数の職員で一緒に行うことで理解が深まっていると思います。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
自分に必要な研修を見つけ、自ら取り組んでいく	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月20日

9. 人権・プライバシー

メンバー 村松・岩見・文恵・飛鳥田・片山・澤地・山田・  
数崎・篠原・水野・堀江・神戸・間島・上山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⑥ 前回の課題について取り組みましたか？	8人	6人			14人

前回の改善計画	
スピーチロックを減らして行く。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・自分が余裕を持って行動することで、利用者からの問いかけや依頼を落ち着いて聞くことができた。必ず受け止めるよう接するが、できない時は利用者を待たせるのではなく他職員に依頼し連携していくことが少しずつではあるができてきた	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 身体拘束をしていない	14				14
② 虐待は行われていない	14				14
③ プライバシーが守られている	14				14
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	14				14
⑤ 適正な個人情報の管理ができています	14				14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日中は鍵をかけることないので、内外からの出入りは自由にできます。帰宅願望の強い方が外に出たがる時は、声かけし状況によっては一緒に外に出ています。身体拘束廃止や高齢者虐待防止等の研修を毎年行って、常に身近な問題として受け止めています。個人情報の管理に関しては、入社時の雇用契約書で宣誓しその後も研修等で理解し実行できるように努めています。成年後見制度を利用している利用者が1名います。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者に対し「ちょっと待ってね」とか「～ダメ」「～でしょう」と言ってしまうことがある。同じこと繰り返し言い続けられると、感情的になってつい言葉が荒くなってしまうことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
依頼や問いかけには正面を向いて、はっきりしっかり対応していく	

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

令和 6年3月

法人名	(有)池ちゃん家・ドリーム ケア	代表者	殿岡 裕	法人・事業 所の特徴	目配り・気配り・心配りの介護をモットーに、ご家族様とご一緒に、少しでも長く在宅生活が送れます様にお手伝いいたします。
事業所名	小規模多機能ホーム 「池ちゃん家」藤枝	管理者	村松聰子		

出席者	市町村職員	知見を有する人	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	5人	人	人	1人	人	2人	人	8人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	習得した「根拠に基づいた介護技術」を確実に自分のものにしていく	・昨年度作成した「根拠に基づく介護技術マニュアル」を全員が講習を受け、実技試験で合格をとっているため、宝の持ち腐れにしないように日々の介護の現場で実践しています ・カンファレンス時は、職員全員が1回は必ず発言できるように促し、司会と書記は持ち回りとしています ・カンファレンスを始める前の時間を利用して、ズームによる研修を全員で受け職員全体の共通認識としています	・毎月行っているカンファレンスの時間で、11月は職員一人ひとりの自己評価を、12月には事業所としての自己評価を行って、まとめたものを自分たちがアンケートとして配ってもらったが、毎日の仕事だけでも大変だと思われるのに、職員さんの気持ちが良く分かるまとめだった	より高い位置での介護技術のレベルアップをしていく
B. 事業所のしつらえ・環境	交流センター・防災センターを訪れる多くの方たちに認識されるように、季節を感じていただけるような掲示板を充実していきます	・外の掲示板はもちろん玄関や各フロアの掲示物は、季節を感じていただけるように、毎月利用者さんと一緒に工夫を凝らして職員が当番制で制作しています。今後は交流センターに来た方たちにも見ていただけるように、利用者さんの作品の掲示も考えていきます	・役員になってここを知り・来るようになったがこの施設はあまり知られていないのではないかと ・門はいつも開いているが、通りがかっただけでは「どう言う所なのか?」「勝手に入って良いのか?」なかなか入っては来れないと思う。バザーとかの行事の時は大勢の人たちが出入りしているようだが、介護施設と言うと入りにくいかもしれない	毎月利用者さんと一緒に作り上げている掲示板を、交流センターを訪れる方達に見ていただけるようにより力を入れて行きます
C. 事業所と地域のかかわり	コロナ禍の中でも、可能な限り地域の行事への参加を増やし、当事業所にも来ていただけるような行事等を考えて行きます	・今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大で、施設も地域も行事を中止せざるを得ない状況で残念でした。毎年恒例で行っていたバザーには、献納して下さる方や子供会からも問い合わせがあり、開催できないことを寂しく感じていただき、積み重ねてきたことがしっかりと根付いていたことを再確認できうれしかったです。早く日常を取り戻して、当たり前のことが当たり前に行けるようになってほしいです	・散歩中に会っても、推進会議で来ても職員さんは気持ちよくあいさつしてくれる ・今年も行事がすべてなくなって大変な年だったようだが、そんな中でも季節感を大事にしてお年寄りを楽しませてくれていることが報告で分かるのでありがたい	規制のかかる中でも可能な限り地域の行事への参加を増やして行きたい
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	交流センターの施設内外の設備を利用させていただき、利用者さんの社会参加を進めていきたい	・今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大で、夏祭り・避難訓練等は中止となりましたが、公民館祭りには利用者さんと一緒に作ったペットボトルのキャップアート2作品、レクの時作った作品の刺し子・松ぼっくりのクリスマスツリーを出品させていただき見学もさせていただきました	・認知症のお年寄りと一緒に生活してみないと分からないが、いろいろなケースを毎回話してくれるので身近に感じることができるようになった ・運営推進会議の時に2ヶ月間の様子報告があるので、季節季節の行事を大事にし、いろいろな所に連れて行ってもらっていることが分かる。家族に代わって連れて行ってくれるので、こういうところを利用してはお年寄りは幸せだと思う	ふれあい祭に参加するために計画を立てて作品作りをして、利用者さんと一緒に発表の喜びを感じて行きたい
E. 運営推進会議を活かした取組み	感染症・虐待・認知症などタイムリーな話題を取り上げて、事例を交えながら知っていただく	・新型コロナウイルス感染症拡大の中でしたが、手洗い・消毒・3密を避けての行動・換気等しっかりと配慮対応して6回開催することができました。町内会長さんは毎年替わられるので、民生委員さんと一緒に介護保険や小規模多機能のサービス等について理解していただけるようにお話しています	・2ヶ月間にあった利用者さんの変動や行事・お出かけ・お楽しみメニュー等写真を交えながら分かりやすく説明してくれるので活動状況が良く分かる ・包括支援センターからの報告やお知らせなどもあって、連携は取れていると思う	介護現場での実情をお話ししたり、厚労省からの発信をお知らせすることで高齢者施設を身近に知っていただく
F. 事業所の防災・災害対策	避難訓練への参加をお願いするとともに、事業所の防災への取り組みをアピールしていきます	・昨年同様、消防署職員の協力を得ることができ利用者さん・推進会議参加者・職員の計30名が参加して行うことができました。雨のため外に出ることはできませんでしたが、おおむねスムーズに短時間で避難誘導できていると講評いただき、日ごろの訓練が必要と再確認しました。AED講習を受け、ほぼ全員が講習を受けているのに、緊張のためか忘れてしまっ確認しなかったこととかがあり、常に身近に接していなければと痛感しました。交流センター・防災センターができたので、地域の中の施設の役割を考えて行きたいと思います	・消防職員立ち合いの避難訓練を見学させていただき、車椅子利用の人の多いことに驚いた。職員は慌てることなくきびきびと避難誘導していたと思う。日頃から訓練していることが良く分かった ・アンケートにあるので、事業所の防災計画などの説明を欲しい	運営推進会議の時に、避難訓練への参加をお願いし日ごろの訓練を知っていただくとともに、防災知識の共有をしていく